



長年の活動に功績のあった皆さんに、表彰状が贈られました

1・31日 民生児童委員9人が 永年勤続表彰

1月31日、町内で「町民生児童委員協議会全体会」が行われ、長年の活動に功績があり、全国民生委員児童委員連合会長表彰を受けられた皆さんに、渡邊町長から表彰状が伝達されました。

受章者は以下のとおりです。

▶永年勤続民生委員・児童委員表彰（敬称略）

小林 憲竹(71歳・広ケ野)、大原由紀子(74歳・畑 町)
館岡 悦子(72歳・高 崎)、石井 文義(68歳・中 村)
金野 實(72歳・平ノ下)、原田 富雄(71歳・富 田)
小玉 明子(66歳・高 千)、石井 鉄作(69歳・黒 土)
千田 房子(69歳・西 野)

1・31日 シイタケの栽培に挑戦 五城目小で林業体験教室

1月31日、五城目小学校5年生を対象に、五城目森林組合林業研究グループの皆さんによる「林業体験教室」が開催されました。

児童たちは、「森林のはたらきと手入れ」の説明を受けた後、みんなで協力しながら、サクラのほだ木にシイタケの菌を植え付けました。



シイタケの菌を植え付けたサクラのほだ木は一人一人にプレゼントされました



子どもクッキング教室では、カレーライス作りに挑戦

2・2日 地域の先生たちに学ぶ わらしべフェス

2月2日、馬川地区公民館で「わらしべフェス」を開催しました。

「わらしべフェス」は、地域の方が講師を務める町放課後子ども教室「わらしべ塾」の各講座が一堂に会する行事で、当日は茶道、バルーンアート、折り紙、ウッドクラフトなど10講座を開講しました。参加した子どもたちは、地域の方に教わりながら各講座を楽しんだほか、お昼は、子どもクッキング講座で作ったカレーライスをみんなで食べました。

2・2日 3日 全国大会への切符を懸け熱戦 東北高校選抜レスリング大会

2月2日と3日の2日間、広域五城目体育館で「第58回高松宮杯東北高等学校選抜レスリング大会」が開催されました。

初日は学校対抗戦、2日目は個人対抗戦が行われ、3月に新潟県で開催される全国選抜大会への切符を懸け、それぞれの試合で熱戦が繰り広げられました。

学校対抗戦では、八戸学院光星高校（青森県）が11年ぶり11回目の優勝を飾りました。



秋田商業高校の選手として大会に出場し、地元の声援を受けながら試合に臨む□□□□さん◎(同校1年・□□□□)



参加者が協力しながら、タンさん◎の自宅に置くこたつの製作を行いました

こたつ作りでは、藤井工務店の藤井好春さん指導のもと、参加者が協力しながら天板のヤスリがけや組み立てを行い、だまご鍋作りでは、町米消費拡大地域活動推進委員の皆さんに食材についてのお話しをしていただきながら、イベントを開催しました。

だまごを丸め、調理を行いました。お昼には、できたてのだまご鍋と、朝市通りのカフェ「いちカフェ」の店主坂谷彩さん手作りの「フォー・ガー（お米の麺と鶏のスープ）」をいただきました。その後、餅つき体験、家への断熱シート貼りなどを行い、タンさんからの歌の披露もありました。タンさんと地域の方は、会話をしたり、互いの食文化に触れたりしながら交流を深めていました。

◆空き家活用イベントを開催し
移住者と地域を結びお手伝い

昨年10月、ベトナムの青年、グエン・チヨン・タンさんが、大川の(株)宮盛に就職するのを機に町へ移住してきました。

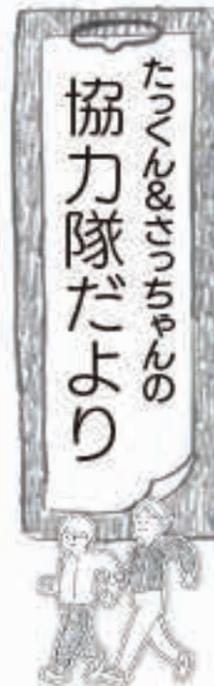
タンさんが今住んでいる家は元々は空き家でしたが、所有者の方が丁寧に管理されていたので、スムーズにマツ

チングのお手伝いをさせていただくことができました。

「もっと近所の方と仲良くなりたい！」というタンさんの思いと、「五城目の冬の厳しい寒さでの暮らしを少しでも暖かく過ごしてもらいたい！」という私たちの思いから、『「じょなム」ベトナム出身・タンくんと一緒にあったかい五城目を楽しもう！』と題し、1月26日に、空き家の活用イベントを開催しました。



タンさんの故郷の料理「フォー」を地域の皆さんも味わいました



今月の担当
渡邊 幸穂

空き家や飲食店など町の情報を紹介しています

五城目移住宣言 -Gojome Living-

空き家や飲食店の情報に加え、町で暮らす人たちの紹介も行っていきます。



ウェブサイト『五城目移住宣言 -Gojome Living-』に、五城目町内にある利活用可能な空き家情報を記載しています。

▶URL : <http://gojome.net>

お持ちの空き家の利活用をご検討されている方・悩んでいる方、移住をご検討されている方は町住民生活課（☎018・852・5112）までご連絡ください。